

3.活動報告

町田市、事業者、市民が 2020 年度に実施した環境に関する代表的な取り組みを紹介します。

3.1. みんなが主役！ごみ減量

町田市では、「ごみ減量」や「ごみの適正排出」について、YouTube や Instagram、Twitter を使って発信しています。啓発の行き届きにくい、主に 20 代 30 代の人たちをターゲットに、家で、家族と一緒に、また外出先でも手軽に楽しく学ぶことができるよう取り組んでいます。

●2020 年度の活動内容

YouTube での配信や Instagram、Twitter での投稿を用いて、「ごみ収集車の仕組み」、「分かりづらいごみの分別方法」、「ごみ関連施設の紹介」などを発信しました。さらに歌や踊りを取り入れるなど、ターゲットとする年代に見ただけのよう意識しました。

イベントの告知や、必要に応じて悪天候時の収集作業の状況などの緊急連絡も Instagram や Twitter で投稿しました。



YouTube「町田市公式動画チャンネル～さんあーるチャンネル～」



● 2020 年度の配信・投稿回数

- YouTube 「さんあーるチャンネル」 9 回配信（2020 年 9 月開始）
- Instagram 「ごみナクナーレ」 40 回投稿（2020 年 5 月開始）
- Twitter 「ごみナクナーレ」 66 回投稿



Twitter「ごみナクナーレ」



Instagram「ごみナクナーレ」



歌や踊りを取り入れ、若い世代の方たちにも見ていただけるよう工夫しました。

また、2020年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、イベントや講座などの現場に行けないこと、そして市民が外出を自粛して在宅時間が増えていることから、本来対面で行っている「ごみ減量啓発」をテーマとした内容の配信を行うようにしました。

SNS等の 利用者の声



- ◆ 今までわかりにくいと思っていたごみの分別方法が理解できた。
- ◆ イベントなどの開催予定が簡単にわかって便利。
- ◆ 子どもが大好きな“ごみ収集車のうた”を覚えることができたので、子どもと一緒に歌と踊りができるようになった。

●2021年度以降の展開

現在行っているYouTubeでの配信やInstagram、Twitterでの投稿に加えて、今後は、リアルタイムで直接市民とやり取りできるようなツールの活用を検討していきます。

●担当者からのメッセージ

子どもから大人まで、自分なりの「ごみ減量アイデア」などを随時募集しています。皆さんと一緒になって『ごみの少ないきれいな町田市』をつくっていきたくと思っています。

●活動への問い合わせ

「3R」「ごみ減量」に関するお問い合わせは、こちらまでお願いします。

町田市 環境資源部 3R推進課 TEL：042-797-0530

3.2. 自分でできるエコなことって？

●「わたしのエコ宣言」

「わたしのエコ宣言」とは、地球温暖化防止の意識浸透を図ることを目的に、市民の方が日常生活の中でできる（またはしている）地球温暖化を防ぐ行動を宣言していただくものです。

具体的には、「使わない部屋の照明は消す」や「テレビを見ないときは消す」などです。こうした、家庭ですぐにできる取り組み10項目の中から、いくつかの取り組みを選んで宣言していただきます。



「わたしのエコ宣言」ステッカー

●2020年度の活動内容

宣言していただいた方にエコドライブステッカーやエコバッグ「まちバッグ」をプレゼントする企画を実施したことで、1,129名に宣言していただきました。それにより削減されたCO₂は、推定で214,867tにあたります。

例年であれば、町田エコフェスタなどのイベントで宣言書を配布して、多くの方に宣言をしてもらっていましたが、2020年度は新型コロナウイルス感染症の影響で、イベント中止が相次ぎ、市民の方にエコ宣言をしていただく機会がなくなる中で、どうすれば接触を避けつつ、多く宣言を集めることができるか考え、企画をしました。

「わたしのエコ宣言」10項目 地球温暖化を防ぐ行動	
冷蔵庫の開け閉めを少なくする	シャワーのお湯は流しっぱなしにしない
使わない部屋の照明は消す	お風呂のふたをしめる
テレビを見ないときは消す	洗顔や歯磨き中、水を流しっぱなしにしない
エアコンは夏は冷房28°C、冬は暖房20°Cに設定する	使わないときはふたを閉める
パソコンを使わないときは、電源を切る	近くへの外出は徒歩や自転車で行く



エコバッグ「まちバッグ」

まちバッグとは

市民、事業者、町田市が一体となって作製した、町田オリジナルのエコバッグです。作製したバッグが環境分野への関心を抱くきっかけとなるよう、町田をモチーフとして「あなたの思い描く THE まちだ」のアイデアを市民から広く募集しました。

A面は、市民から寄せられた意見をもとにデザイナーが作画し、B面は、一般公募のデザインの中から決定しました。

エコ宣言をして
いただいた方の声



- ◆ 「まちバッグ」はデザインがかわいい。
- ◆ 「まちバッグ」は丈夫な素材で作られていて、長持ちしそう。
- ◆ FC 町田ゼルビアのファンなので、「エコドライブステッカー」を車に貼っている。



エコドライブステッカー



ゼルビーとステッカー

エコドライブステッカーとは

エコドライブの普及・啓発を目的として、エコドライブステッカーを無料配布しています。エコドライブは環境に優しいだけでなく、お財布にも、人にも優しい運転です。貼り直しができるため、車やバイク、身近な水筒やタンブラー、ノートなどにも貼ることができます。ステッカーをマグネットシートに貼るひと手間を加えると、洗車時なども簡単に取り外しが可能です。

●2021 年度以降の展開

2021 年度も多くのイベントの実施が難しい状況です。少ないイベントをいかに活かすか、また、接触を避けつつ宣言をしていただくにはどうすればよいか、知恵を絞ってより多くの方に宣言していただけるようにしていきます。

●担当者からのメッセージ

わたしのエコ宣言は、2016 年から始めた取り組みです。2021 年 3 月末までに延べ 8,190 人の方に宣言していただき、計 1,638.865t のCO₂を削減することができました。新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、集客型のイベント開催が難しく、皆さんの目に触れる機会も少なくなっています。今回の記事を通して初めて「わたしのエコ宣言」をお知りになった方、宣言にご協力いただけましたら幸いです。

●活動への問い合わせ

「わたしのエコ宣言」に関するお問い合わせは、こちらまでお願いします。
町田市 環境資源部 環境・自然共生課 TEL：042-724-4391

3.3. 環境に優しい街路灯

町田市では、約 31,000 灯の街路灯と約 1,700 灯の公園灯があり、そのうち 27,000 灯は水銀灯と蛍光灯でした。これには人体に悪影響を及ぼす水銀が含まれているため、地球規模での対策として 2017 年 8 月 16 日に施行された「水銀による環境の汚染防止に関する法律」により、2021 年以降の水銀灯の製造、輸出入が禁止となり、今後の維持管理や LED 化への更新が課題でした。また、地球温暖化の観点からも CO₂ の削減が急務でした。

これらの問題を解決するため、全ての街路灯・公園灯を LED 型照明へ更新することに取り組みました。

●2020 年度の活動内容

■ LED 化による削減効果



年間の CO₂ 排出量

約 2,902t-CO₂

が削減されました

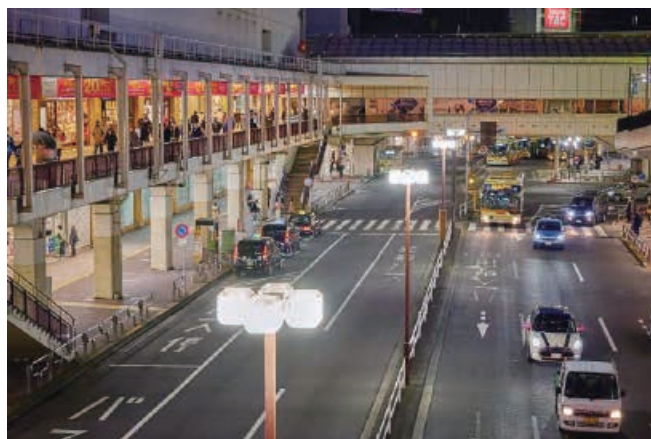


年間の電力量

約 5,528MWh
(メガワットアワー)

が削減されました

街路灯の LED 化事業では、民間のノウハウや工夫を最大限に活かせるよう公募型プロポーザル方式を採用しました。その結果、短期間で早期に CO₂ 排出量と電力量の削減が実現できました。

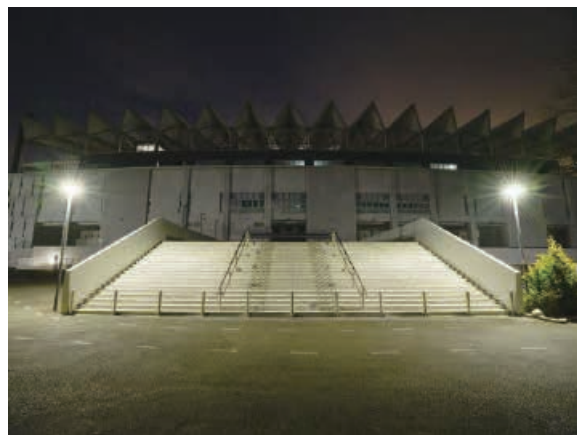


町田駅前の街路灯



町田駅前の街路灯

また、今回の事業では街路灯だけでなく公園灯も一緒に LED 化を行いました。



町田市立野津田公園の公園灯

街路灯・公園灯の LED 化により、市民の方から以前より明るくなったという声をいただいています。

また今回、24 時間 365 日稼働のコールセンターの設置により、市民の方からの街路灯・公園灯に関する問い合わせにいつでも対応可能になりました。

●街路灯・公園灯専用コールセンター

0120-280-070 24 時間 365 日

●2021 年度以降の展開

市民の方に、コールセンターの存在を広く知っていただけるように努めていきます。また、LED 化事業の実績や効果などを PR していきます。

●街路灯担当者からのメッセージ

新たにコールセンターの電話番号が記載された管理プレートを街路灯の近くに表示しています。市民の方が街路灯の不具合を見つけた際はコールセンターに連絡をいただきたいと思っています。

また、道路維持課では街路灯の管理や道路補修のほかに街路樹の管理も行っています。街路樹を管理していく上で樹勢衰退等により倒木する危険性のある街路樹に関しては伐採を行っています。伐採の際に出る木材（発生材）の一部を再利用し、ごみの量を削減することで環境への負荷の軽減に努めています。

●公園灯担当者からのメッセージ

公園灯の LED 化が完了しました。以前よりも明るくなったとのお声が寄せられています。公園灯の不具合もコールセンターで受け付けていますので、管理プレートをご確認の上ご連絡をお願いします。

●活動への問い合わせ

「街路灯」に関するお問い合わせは、こちらまでお願いします。

町田市 道路部 道路維持課 TEL：042-724-1121

「公園灯」に関するお問い合わせは、こちらまでお願いします。

町田市 都市づくり部 公園緑地課 TEL：042-724-4399
(公園管理係)

3.4. まちだエコ宣言登録事業者の取り組み

「まちだエコ宣言」は、環境に配慮した活動を行うことを宣言した市内事業者の取り組みを、市が広く市民の皆さんに紹介し、さらなる活動の広がりを応援していく制度です。2020年度末時点で、93店・事業所が登録しています。今回はこの中から、原町田にある「小田急百貨店町田店」と、本町田にある「町田焙煎珈琲株式会社」の取り組みを紹介します。

(1) 小田急百貨店町田店

小田急百貨店町田店は、1975年に町田店を開店し、2020年に45周年となりました。駅ビルという特性上、制約がある中で、最大限に環境配慮に向けた取り組みを行っておられました。

エコ宣言登録事業者としての取り組み実績

- マイバッグ利用の推進
- パーク&ライドの推進
- 社内における環境方針の策定
- 廃棄物削減、リサイクル推進への取り組み
- リサイクル推進店の参加
- 食品廃棄物の再利用
- 環境キャンペーンへの参加



小田急百貨店
矢尾板さん



小田急百貨店町田店
外観

●取り組みの工夫

「小田急百貨店では、従業員一人ひとりに、環境方針が記載されたポケットサイズの印刷物が配布されており、年度ごとに見直しが行われたり、共有・確認がされています。」と語られるのは、小田急百貨店の矢尾板さん。

近年力を入れているのは、食料残さをリサイクルする取り組み。各店舗から回収された食品廃棄物を、リキッド状に飼料化して、豚の飼料にし、製品化を行っているそうです。「ご理解、共感をいただけるお客様にはご好評をいただいています。」と語られました。

町田店は、2018年にリニューアルし、照明をLED化して省エネの取り組みも推進されています。

百貨店に入っている店舗と協力して、コスメの下取りや衣料品の引き取りなども行われていました。「店舗には、小田急百貨店の環境への意を汲んでいただいています。また、それぞれでも環境意識が高まっており、みなさん前向きに実施してくださっています。」とのこと。

線路の上にある駅ビルのため、改装を行う際、手が増えらるる場所に制約があるなかで、「電球一つ変えるにしても、より省エネで環境に配慮した製品を選ぶことを徹底して行う努力をしています。施工業者も環境に配慮しているところを選んでいきます。できることを精一杯、これからも取り組んでいきたいと考えています。」と語られて、積極的な姿勢がとても印象的でした。



食品廃棄物リサイクルの流れ



店舗と協力開催の
コスメ下取り
キャンペーン

(2) 町田焙煎珈琲株式会社

町田焙煎珈琲株式会社は、2021年で開店から10周年を迎えました。2011年に住宅街の自宅の脇で開店、2015年に現在の場所に移転したそうです。地域との繋がりをとても大切にしておられる、代表取締役の岡さんにお話を伺いました。

エコ宣言登録事業者としての取り組み実績

- 商品のプラスチック個包装の削減
- 炭酸水製造によるペットボトル削減
- レジ袋の削減
- こまめな消灯
- エコドライブの実施
- 製造時に出るコーヒーかす（チャフ）の堆肥利用

●取り組みの工夫

「床も廃材でできてるんですよ。」そう語る岡さんは、環境に関して、ずっと関心をお持ちだったそうです。

ごみを出さない取り組みについてうかがうと、オリジナルのリユース缶を販売し、購入時お客様に使用していただくことによって、豆の袋を減らせているとのことでした。

また、コーヒー豆の薄い皮である「チャフ」を、以前は捨てていましたが、地元農家の方に堆肥として利用いただけるよう加工し、提供されていました。

このほか、商品のプラスチック個包装の削減にも努めておられました。数年前までは、ドリップバッグのパッケージを印刷する際、水に滲むインクを使用しておりビニールでの個包装が必要でしたが、耐水性のインクに変更することでプラスチックごみ削減を実現することができました。

イベントの際には、炭酸水をマシンを使って自社で製造しており、ペットボトルの削減としては約1,000本に上っているとのことでした。2020年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、イベントが行われていませんが、またイベントが開催されれば、取り組みを再開したいとのことでした。

電力もCO₂ゼロの電力会社を選んでいました。岡さんが選択したのは、再生可能エネルギーへ投資する電力会社とのことで、その取り組みに共感して契約したそうです。積極的に環境のために行動・選択を行う姿勢が感じられました。

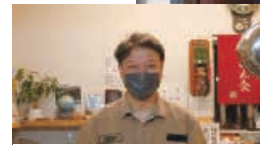
環境のために、ご自身でできる最大限の行動をしておられる岡さんは、「こうした環境への取り組みは、自分が行うだけで満足するのではなく、人に伝えていく必要がある」と述べられ、環境に対する強い気持ちがうかがえました。

●活動への問い合わせ

「まちだエコ宣言」に関するお問い合わせは、こちらまでお願いします。
町田市 環境資源部 環境・自然共生課 TEL：042-724-4391



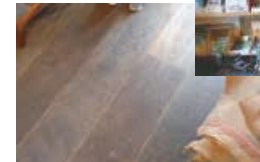
ショップ外観



代表の岡さん



ショップ内観



廃材を利用した床



堆肥に加工した「チャフ」



ドリップバッグやティーバッグの袋

3.5. 市民の取り組み

市民による環境への取り組みの中から、緑のカーテン事業とスマホアプリを使った生きもの調査「生きもの発見レポート」を紹介します。

(1) 緑のカーテン事業

節電意識を高め、過度にエアコンに頼らない快適な夏を過ごすため、市民による緑のカーテンづくりが毎年実施されています。

●ゴーヤやアサガオの苗の配布

緑のカーテンを市内に広めるために、ゴーヤやアサガオの苗を配布しています。

2020年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、市民への配布会は中止し、希望者へ種の郵送配布を行いました。商店会、町内会・自治会、民間団体、公共施設などを含め2,000苗を配布しました。

配布した苗が緑のカーテンになった時の二酸化炭素(CO₂)削減効果は、およそ128tになります(1苗で面積4m²の緑のカーテンができ、0.064tのCO₂が削減できると想定)。

また、公共施設や小中学校で育てたゴーヤは、市役所の食堂や学校給食で市民や児童にも提供されています。



町田市内の緑のカーテンの事例

(左:町田第一小学校お父さんネットワーク、右:東京電力パワーグリッド株式会社多摩総支社 町田事務所)

水やりのコツ

上手に緑のカーテンを育てるには、水やりが大切です。
いくつかのポイントをおさえて、元気なカーテンをつくりましょう。

梅雨明けを境に変わります

【梅雨明け前】

「水のあげ過ぎ」による根腐れに気をつけてください。2～3日に一度のペースで充分です。ただし、1回でたっぷり水をあげます。プランターなら底から水が流れ出る量が目安です。

【梅雨明け後】

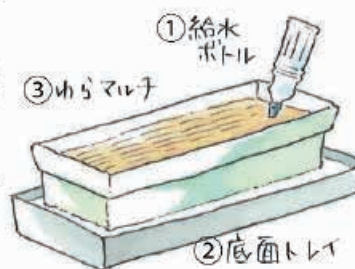
1日1回は土全体にいきわたるように与えましょう。真夏は水分を奪われやすいので、様子を見て2回に増やしてください。しおれていたら、時間帯にこだわらず水を与えます。

長時間外出する時は…

【①給水ボトル】2Lのペットボトルに水を入れ、キャップ部分にドリップ灌水用チューブを取り付けます。プランターあたり2本程度設置します。

【②底面トレイ】プランターより大きいバット(水受け)に水を満たし底面から吸水を促します。

【③わらマルチ】土にワラなどをかぶせて、土壌表面からの蒸発を抑えます。



出典:緑のカーテンのつくりかた(NPO 法人 緑のカーテン応援団)

●活動への問い合わせ

「緑のカーテン事業」に関するお問い合わせは、こちらまでお願いします。

町田市 環境資源部 環境・自然共生課 TEL:042-724-4391

(2) スマホアプリを使った生きもの調査「生きもの発見レポート」

2019年4月から、市民参加による生きもの調査「生きもの発見レポート」を実施しています。これはスマートフォンの市民通報アプリ「まちピカ町田くん」を使って、写真と位置情報を送っていただく調査です。

市内のさまざまな場所で暮らす生きものとその生息地の情報を収集して、どこにどんな生きものがあるかを調べるとともに、調査に参加したり、蓄積した情報を閲覧することを通して、市民のみなさまが生きものに親しみを感じていただくことを目的としています。

●「生きもの発見レポート」の送り方

「生きもの発見レポート」は、スマートフォンがあればいつでも・どこでも・誰でも気軽に参加することができます。

事前準備として、スマートフォンに市民通報アプリ「まちピカ町田くん」をダウンロードします。その後の手順は以下のとおりです。

- 1 市内で生きものの写真を撮影する。
- 2 スマートフォンで「まちピカ町田くん」を起動する。
- 3 トップ画面で「メール通報・レポート」を選択する。
アプリの流れに従い、写真を添付（2枚）して、位置情報を取得する。対象の種類を選択して、必要があればコメントを入力する。
- 4 メール画面で内容を確認し、送信する。



「まちピカ町田くん」は
こちらからダウンロード



iPhoneを
お使いの方



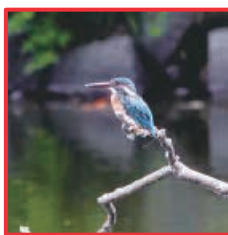
Androidを
お使いの方

●2020年度の投稿内容

2020年度は、合計1,473件の生きものが報告されました。一番多い月は9月で、特に昆虫の情報が多く寄せられました。

また、毎年調査で集まった生きもの情報を、「まちだ生きものアルバム」としてまとめています。

【投稿写真の紹介】



かき 双
(野津田)



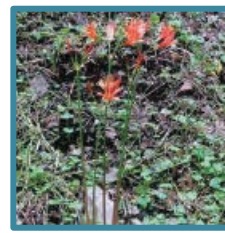
シュレゲルアカガエル
(山崎)



トノサマバッタ
(本町田)



ムツタテアカネ
(下小山田)

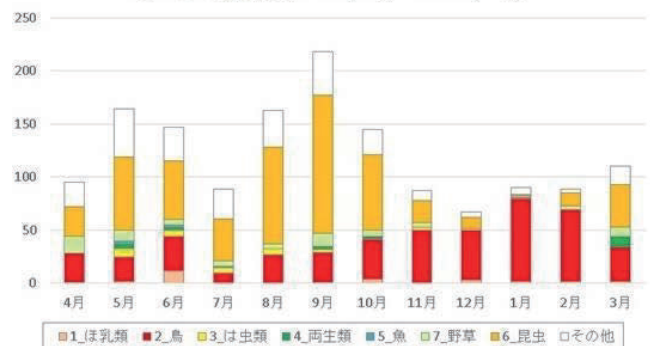


キツネガミソリ
(相原)



キタテハ
(下小山田)

月ごとの報告数(2020年4月～2021年3月)



※1つの投稿に複数の種類が写っていたものは、それぞれに計上しています。

※調査対象外は「その他」に集計しています。

●活動への問い合わせ

「生きもの発見レポート」に関するお問い合わせは、こちらまでお願いします。

町田市 環境資源部 環境・自然共生課 TEL: 042-724-4391